

憲法しんぶん 速報版
発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2021年8月19日(木)
NO. 1196号
本号3頁

高致死率ラムダ株

2週間報告せず!

五輪開催中で、五輪関係者だからか?

致死率の高い「ラムダ株」が東京五輪開幕の7月23日に国内で初めて解析され、国際機関に報告しながら、8月6日に一部報道されるまで明らかにされませんでした。この件について自民党外交部会長を務める佐藤正久参院議員が「早く発表すべきだったが、政府の中でも情報が共有されていなかった。8月6日に報道機関から問い合わせがあったから厚労省が答えた」と釈明しました。

7月20日にペルーから羽田空港に到着した五輪関係者の30代女性に陽性反応が出て解析し、23日にラムダ株と判明しました。7月26日に国際機関に報告したという国立感染症研究所は「日本では懸念すべき変異株、注目すべき変異株のどちらにも指定されていない」とのコメントを出しています。「五輪があるから発表しなかったのでは」と問われた佐藤部会長は「(検査は)もっと早く問い合わせがあれば答えたという感覚。ラムダ株に対する意識の高さがなかった。空港検疫で見つかったとあれば発表すべき。それは内閣官房関係者も同じ意見だ」と語りました。

また、「空港で陽性になった人のゲノム解析は全て行っている。それで今回ラムダ株が見つかった。市中では見つかっていない。感染研は今では注目すべき変異株に指定している」と発言しました。

国際医療福祉大学大学院の松本哲哉教授は「ラムダ株はすでに中南米を中心に広域に拡大している。そういう株が日本国内に入ってくれば、出た時点できちんと公開し、デルタはあまりにも増えたので、今度はラムダへと体制を切り替えるものだと思う。五輪の時期だからということかもしれないが、早めに公開しなかったというのは何かの意図があったと疑われても仕方がない」と指摘しました。

松本氏のいう通りで、2週間も公開しないと、とんでもありません。五輪開催中で、五輪関係者だから発表しなかったのです。国民の命を軽視する菅政権は許せません。

横浜市長選で菅政権に厳しい審判を!

山中氏先行、追う小此木氏 林・松沢・田中氏続く

任期満了に伴う横浜市長選(22日投開票)は、菅首相が全面支援する前国家公安委員長で元衆院議員の小此木八郎氏の当落は、内閣支持率が急落する菅政権に大きな影響を与える重要な選挙です。「命より五輪」と東京五輪を強行し、コロナ感染を爆発させ、悪政を推進し、改憲に突き進む菅政権を退陣させるために、立憲と共産、社民党が支援する元横浜市立大教授の山中竹春氏への支援を全国から強めましょう。

その横浜市長選について、神奈川新聞社は13、14の両日、市内の有権者を対象に電話世論調査を実施しました。結果は、過去最多の8人が立候補する中、山中竹春氏が先行し、小此木八郎氏が追う展開。現職の林文子氏、前神奈川県知事で元参院議員の松沢成文氏、元長野県知事で作家の田中康夫氏が続いているとのこと。一方で、約2割が態度を決めておらず、今後の各陣営の活動によっては情勢が変わる可能性もあると報じています。

カジノを含む統合型リゾート施設(IR)の誘致に「断固反対」の立場を取る山中氏は、推薦を受けた立憲民主党支持層の約7割を固め、自主的支援を表明した共産党支持層にも浸透しているほ

か、無党派層の2割強からも支持を獲得。I R反対派にも浸透し、年代を問わず幅広く支持を得ています。一方、I Rの横浜誘致「取りやめ」や、災害に強い都市づくりを訴える小此木氏は、自民党支持層の半数を固めたほか、自主的支援を表明している公明党支持層の約6割から支持を得ており、元閣僚としての実績などを基に支援を呼び掛けているが、無党派層からの支持は約1割にとどまっています。

I Rの誘致推進を掲げ、4期目を目指す林氏は、自民党支持層の1割強から支持を得ている、3期12年の実績と知名度を武器に無党派層の1割から支持を得ているほか、I R誘致賛成派にも支持を広げているとのこと。松沢氏は、離党した日本維新の会支持層の約3割から支持を獲得。高い知名度を誇るが、無党派層からの支持は1割に届いていない。田中氏は、知事時代の実績や知名度を基に支持を呼び掛けているが、無党派層からの支持も1割未満にとどまっており、浸透しきれていないとしています。

各社の世論調査で菅内閣の支持率 30%切り 危険水域に突入

時事通信の世論調査では、菅内閣支持率は8月が29.0%で、7月は29.3%。また、朝日新聞の調査(前号で紹介)では28%。また、NHKは29%といずれも昨年9月の政権発足後最低を記録。首相の求心力低下に拍車がかかり、政権維持が困難になるとされる危険水域に突入しました。

報道によると、自民党の閣僚経験者は13日、取材に「引き続き厳しい」と嘆き、二階俊博幹事長の周辺も「五輪の浮揚効果はなかった」と認めました。党内には「総裁が交代しないと衆院選を戦えない」(ベテラン)、「もうこの政権は終わりだ」(中堅)と首相交代を求める声すら漏れ始めています。

NHK、時事通信、読売新聞とも「内閣発足以降最低を更新」と

◆NHK 世論調査 2021年8月10日更新

- ①菅内閣支持率 「支持する」先月より4ポイント下がって29%で、去年9月の内閣発足以降最低を更新。一方、「支持しない」6ポイント上がって52%で、発足以降、もっとも高くなった。
- ②新型コロナウイルスをめぐる政府の対応。「大いに評価する」3%、「ある程度評価する」32%、「あまり評価しない」40%、「まったく評価しない」21%。
- ③東京オリンピック開催について。「よかった」26%、「まあよかった」36%、「あまりよくなかった」18%、「よくなかった」16%。
- ④東京オリンピックは、「安全・安心な大会」になったか。「なった」31%、「ならなかった」57%。
- ⑤ワクチン接種の進み具合。「順調だ」18%、「遅い」75%。

◆時事世論調査 8月6~9日に実施

- ①菅内閣の支持率は前月比0.3ポイント減の29.0%。不支持率は同1.5ポイント減の48.3%。支持率が2カ月連続で政権維持の「危険水域」の20%台となるのは第2次安倍政権以降初めて。
- ②政府のコロナ対応。「評価しない」前月比3.9ポイント減の55.2%、「評価する」同3.0ポイント増の25.7%。「どちらとも言えない・分からない」19.1%。
- ③ワクチン接種の進捗。「遅い」72.4%、「順調だ」16.3%

◆読売世論調査 8月7~9日に実施

- ①菅内閣の支持率35%。これまでの最低は前回と6月調査の37%。不支持率は54%(前回53%)
- ②東京五輪が開催。よかったと「思う」64%、「思わない」28%。
- ③菅首相にどのくらい首相を続けてほしいか。「すぐに交代してほしい」18%、「今年9月の自民党の総裁任期まで」48%、9月の総裁任期までの交代を求める人は計66%。

日本会議ら「戦没者追悼中央国民集会」開催 憲法改正求める声相次ぐ

産経新聞の報道によると、15日東京・九段北の靖国神社境内で、英霊にこたえる会、日本会議共

催の「戦没者追悼中央国民集会」が開かれ、コロナ感染拡大防止のため共催者の役員ら約 50 人に規模を縮小し、YouTube でライブ配信したとのこと。

集会では、新型コロナや中国の覇権主義に対抗するために憲法改正を求める声が相次ぎました。英霊にこたえる会の寺島泰三会長は憲法改正について、緊急時に限って政府の権限強化を可能とする緊急事態条項創設や自衛隊明記の必要性を主張。「令和の今こそ、改正の好機ではないか。国会で党利党略に甘んずることなく、速やかに憲法改正の原案を審議していただきたい」と訴えました。寺島氏はまた、昭和 50 年を最後に途絶えている天皇陛下の靖国神社へのご親拝実現に向け「われわれの代表である国会議員、首相、閣僚の参拝が必要だ。菅義偉首相にはぜひとも参拝をいただきたいと念願し、活動を今後とも継続していく」と語りました。

自民党の和田政宗参院議員は、中国や北朝鮮の脅威に対応するため、防衛費を国内総生産（GDP）比で 2% に増額する必要があるとの考えを示し、「抑止力を考えたとき、しっかりと敵地攻撃能力を持つべきだ。巡航ミサイルを配備し、国民の平和を守るための防衛力を整備しないとイケない」と語りました。

ジャーナリストの門田隆将氏は、中国を念頭に「わが国は、世界に向かって力による現状変更を恥じることなく宣言しているあの国に対してなんの準備もしていない」と強調。「相手に手を出させない『アジア版 NATO』をなぜつけないのか。憲法改正ができないからだ。憲法 9 条が国民の命を守るための集団安保体制の障壁となっている」と語りました。

各地のとくくみ

東京・西東京 亡くなった方の 9 条への思いのカンパでハンドマイク購入

8 月 9 日、9 の日宣伝を毎月していますが今月は、3 日のピース&レッドアクションがしばらく行われなく、合同で行い参加者も 28 人、改憲発議反対の署名 26 筆、核兵器禁止条約批准を求める署名は、9 日だったからでしょうか 46 筆と今までになく多かったので、すごい強風でしたが宣伝行動ができて良かったです。

改憲反対にすごい情熱をもって、ひとりでも駅や公園の入り口で署名を集めていた出原隆さんが昨年亡くなり、9 条への思いで 9 万円を 3 団体にいただきました。使用方法を検討した結果、写真にあるハンドマイクを買い、残りを 3 分割していただきました。

（西東京革新懇 今村享子 東京革新懇 mailfax ニュース 8 月 16 日号より）



新憲法パンフレット 紹介 その 18

リーフをテキストにして毎回読み合わせ！

八王子・北海道の憲法パンフレットをテキストにした学習会を紹介しましたが、婦団連会長の柴田真佐子さんから、「テキストにして毎回読み合わせ」との嬉しい報告がありました。

学習会開催に当たり、講師が必要でしたら、憲法会議まで、ご相談ください。

私は国際婦人年連絡会の憲法委員会を担当しています。憲法委員会では、憲法会議作成のリーフをテキストにして毎回読み合わせをして学習しています。これを使おうというのは、私以外の方から提案がありました。活用させていただいておりますので、お知らせいたします。

※あなたの職場・地域・団体、仲間で憲法パンフレットを活用して学習会を開催しませんか。

前 1195 号の訂正

憲法しんぶん速報 1195 号に間違いがありましたので訂正します。しんぶん 3 頁の鳥取のとくくみの紹介で、「鳥取県弁護士会主催の「憲法シンポジウム」は、8 月 20 日（土）開催です」と記載しましたが、9 月 20 日（土）でした。すみませんでした。